

取扱説明書

モタロウ スプリングバランサー

注文コード：72918643

このたびは、スプリングバランサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

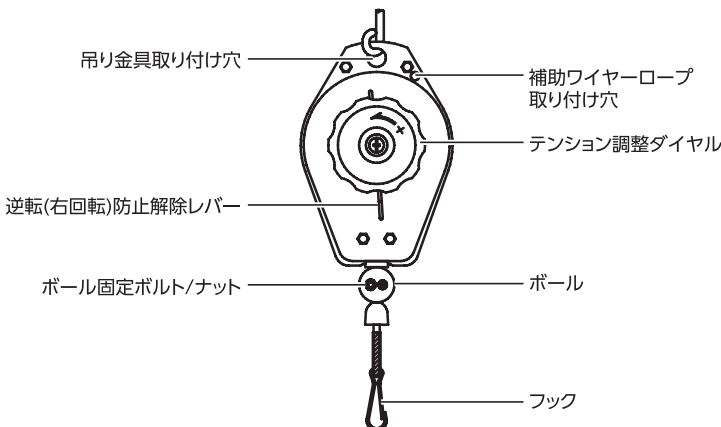
- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 本製品の設置は、記載している手順、方法通りに行ってください。誤った手順、方法で行うと、ケガや破損のおそれがあります。
- 本製品のフック、ワイヤロープや支持部材(吊り金具)が破損した時の落下防止のため、補助ワイヤロープまたはチェーンを取り付けてください。
- 小さなお子様には、絶対に使用させないでください。
- 本製品に吊り下げた工具(機器)の下には入らないでください。
- ワイヤロープを引き出した状態で工具(機器)を取り外さないでください。万一工具が外れると、ワイヤロープが急速に巻取られケガや破損のおそれがあります。
- 本製品に何も吊り下げない状態でワイヤロープを引き出さないでください。引き出したときに誤って手を放すと、ワイヤロープが急速に巻取られ人身事故の原因となります。
- 必ず指定された容量範囲内で使用してください。
- 使用中に異常を感じたときは、ただちに使用を中止し適正な処置を行ってください。

注意

使用について

- 定期的に取り付け部材の緩み、ワイヤーの劣化などが無い点検を実施してください。
- 本製品は防水防塵性能を備えていません。湿気の多い場所、水のかかる、埃の多い場所への設置および使用はしないでください。
- スプリングの張力を調整してから使用してください。
- ワイヤロープをストローク以上に引き出さないでください。
- 不具合の原因が判明するまで、下フックに取り付けられている工具(機器)は取り外さないでください。
- ワイヤロープの引き出し角度は $\pm 20^\circ$ 以内で使用してください。機器が正常に保持できない原因になります。
またワイヤロープの寿命が短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。

2 各部の名称

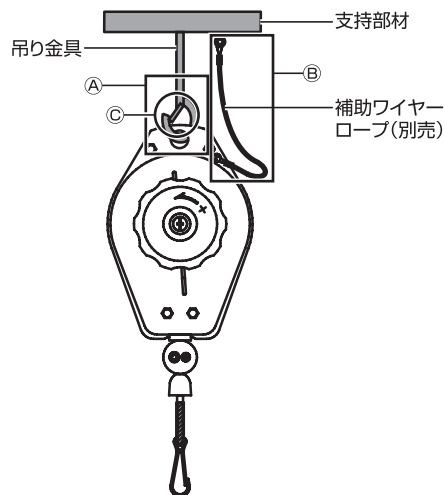


3 設置方法

- 1 本製品の吊り金具取り付け穴に、吊り金具を取り付けます。(図A)
- 2 補助ワイヤーロープ(別売)またはチェーン(別売)を、本製品の補助ワイヤーロープ取り付け穴に取り付け、もう一方を支持部材に取り付けてください。(図B)

⚠ 警告

- 本製品の最大容量範囲の10倍以上の強度のある吊り金具を使用してください。
- 取り付け部材のフックは、本製品が揺らいでも外れないように口の閉じているもの、または口が閉じる構造のものを使用してください。(図C)



4 使用方法

■ 張力の調整

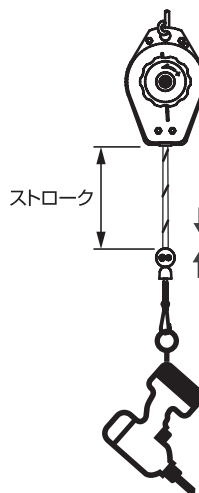
- 本製品のワイヤーロープフックに機器を吊下げた時、図のように任意の高さで機器が動かなく保持されるようにワイヤーロープの張力を調整します。

⚠ 警告

- スプリングの張力を調整してから使用してください。
- ワイヤロープをストローク以上に引き出さないでください。

⚠ 注意

- ストロークの範囲内で作業出来る事を確認してください。
作業が出来ない時は、吊り具の長さを調整して本製品の取り付け高さを調整してください。



■ 機器が下がる

本製品のワイヤーロープフックに機器を吊り下げた時、機器が下がり落ちる場合は、ワイヤーロープの張力を強くします。

- テンション調整ダイヤルを矢印の方向(左回転)に回し、機器が動かなく保持するように調整します。

※ 機器が上がってしまったら、以下に示す要領で張力を弱くします。

■ 機器が上がる

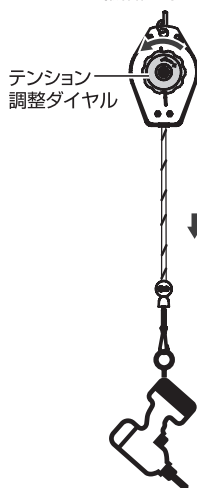
本製品のワイヤーロープフックに機器を吊り下げた時、機器が上がっていく場合は、ワイヤーロープの張力を強くします。

- 逆転(右回転)防止解除レバーを矢印方向(右方向)に押しながらテンション調整ダイヤルを矢印の方向(右回転)に回転させると、張力が弱くなります。

⚠ 警告

- レバーの押し加減でダイヤルの回転速度が変化します。
一気に押すと勢いよく機器が跳ね上がり危険ですので、少しずつレバーを操作してください。

〈機器が下がる〉



〈機器が上がる〉

